

23. 東京女子医科大学医学部（私立）

Tokyo Women's Medical University School of Medicine

〒162-8666 東京都新宿区河田町8-1

<http://www.twmu.ac.jp/>

電話03-3351-8111

1. カリキュラム全般について

A. 一般教育（教養）と専門教育との関係：

- 1) 学則上は一般教育（教養）と専門教育とを区別せず、6年一貫教育である。
- 2) 一般教育（教養）の学習は1、2年生のみではなく3年生以上でも行われる。
- 3) 専門教育（準備教育は除く）の学習は1年生から開始する。

B. 教授会は一般教育（教養）にはない。

C. 学生や教員や地域住民などに対し、医学部・医科大学としての一般目標や理念が印刷物や看板・ホームページなどのメディアで示されている。

D. 学生や教員が学習内容を予め知ることができるように、授業科目の学習目標（一般目標や行動目標）、授業内容、担当者などを印刷物（シラバス）ですべて示してあり、その印刷物を学習要項という。

E. 4年生大学既卒者（学士編入生）は卒業学部にかかわらず、すべて1年生に入学する。

F. 1年生の入学時オリエンテーションは5日間合宿して行う。

G. Early Exposure（医学教育の早い時期に医学・医療の場に接し動機づけを試みる教育）を行っている学年は1年生、2年生、3年生、4年生である。

その期間と内容：1年生：8日間 内容：病院内ボランティア、看護体験

2年生：1日間 内容：外来付き添い体験

3年生：5日間 内容：耳鼻科、眼科、小児科、神経内科：病棟見学、検査体験、
クリニック実習など

4年生：8日間 内容：病院実習

H. PBL/チュートリアル（小グループで行う問題解決型学習）が導入されている。

コアタイムの時間は

- 1年生は、平均して週1.8時間×年間44回である。
- 2年生は、平均して週1.8時間×年間52回である。
- 3年生は、平均して週1.8時間×年間52回である。
- 4年生は、平均して週1.8時間×年間44回である。

自習用に割り当てられている時間は

- 1年生は、平均して週3.5時間×年間33回である。
- 2年生は、平均して週3.5時間×年間39回である。
- 3年生は、平均して週3.5時間×年間39回である。
- 4年生は、平均して週3.5時間×年間33回である。

チューターは学年により異なっていて一般教養系、基礎医学系、臨床医学系を問わない。

チューター養成のためのトレーニングプログラムや講習会などが行われている。

I. 細胞・組織レベル、ないしは臓器系統別の統合カリキュラムをすべてにわたり採用している。

J. 平成17年以降、大幅なカリキュラム改訂は、モデル・コア・カリキュラムを全面的に組み入れている。

「コア」以外のelectiveないしadvanced部分のカリキュラムの特色は下記のとおりである。

・人間関係教育

K. 今後のカリキュラム改訂は平成22年を目途に予定している。そのねらいは下記のとおりである。

- ・腫瘍学総論
- ・診療問題解決型臨床実習

L. 現在学内で、医学教育について検討されている事項は下記の点である。

- ・病院実習の現場でどのようにテュートリアルで育んだ問題解決能力を伸ばすことが出来るか
- ・アウトカム基盤型カリキュラムへの導入
- ・女性医師としての特性を高める教育

2. 選択制について

専門教科について選択制を採用している

専門教科で選択制としている教科は下記のとおりである。

- ・病院実習の一部 例：脳外科

3. 一般教育（教養）について

A. 医学部医学科以外の学部や学科のある大学に伺います。

一般教育（教養）の授業は他学部（他学科）の学生と一緒にではない。

B. 他大学との単位互換について認めている。

D. 一般教育（教養）部門ではほとんどが選択科目である。

E. 平成19年新生で、高等学校などで「生物」を履修していない学生数は26%であった。

「生物」を履修しなかった学生に対して補習ないしは選択で授業をしている。

F. 平成19年新生にはセンター試験が導入されていない。

4. 基礎医学教室ないしは社会医学教室（研究室）配属について

A. 学生が一時期、基礎医学教室ないしは社会医学教室（研究室）に配属されるシステムがあり、希望者のみが6年生の時に平均して1週45時間×3週間配属される。

5. 臨床実習（外来実習、BSL、クリニカル・クラークシップを含む）について

A. 臨床実習前に、まとまった形で医療面接・診察技法（例：臨床実習入門など）の学習を行っている。（15日間）

身体診察の学習に医師や学生以外の標準模擬患者（SP）を導入してはいない。

B. 臨床実習の実施学年とその期間は（早朝や時間外は省略）

4年の時、1週2時間で、14週間である。

C. 臨床実習科目はコア科目を必修とし、その他を選択必修科目としている。

D. 大学の附属病院以外の施設（国・公・私立病院や保健所・老健施設などでの実習、国内外を問わない）で臨床実習を行っている。

その期間は全部で3週で、そこで行う実習科目は学生自身が決める。

この大学外の実習の場合の交通費は学生が自分で支払う。

E. クリニカルクラークシップは臨床実習を行うすべての科で導入している。

F. 臨床実習のための手引書は印刷物として配布されていて、それにはスケジュール、到達目標、医行為の範囲、評価法が記載されている。

G. 臨床実習の評価として

各診療科ごとの評価基準があらかじめ学生に示されている。

学習終了後に基本的臨床能力試験（OSCE）を行っている。

臨床実習の評価結果は合否（進級）の判定（総括評価）に用いられる。

そして不合格になれば、再び全科の臨床実習を行う。

- H. 臨床実習中の学生の安全管理対策については
 保険制度に加入している。
 ワクチン接種を行っている。

6. 学生の海外における実習について

- A. 学生の海外における実習は臨床実習のみを行う機会がある。
 期間は最長臨床実習は4週である。

7. 評価について

- A. 進級判定が行われるのは1年終了時、2年終了時、3年終了時、4年終了時、5年終了時である。
 B. 成績の記録法は点数・合否・段階などの混合による方法を採用している。
 C. 卒業判定のための試験は行われていて、それは講座ごとと総合試験の両方である。
 時期は7月から10月まで、期間は12週間（長期休暇期間を除く）である。
 D. 6年生の10月以降には、系統講義が組まれている。
 また、大学による国家試験対策のための特別な講義が行われることはない。
 E. 卒前教育に携わっている教員に対し、教育業績の評価が行われ、その評価を行うのは、自己である。
 自己評価以外の評価結果は本人にフィードバックされない。
 その評価結果は昇進などに関係する。
 F. 過去2年間に、卒前教育全体に対する第三者評価が行われた。

8. 教員について（医学部・医学科および大学院学生の教育を担当する教員）

- A. 教員数（平成19年12月現在）

		教 養*	基 礎**	臨床***	附属研究施設	その他	合 計
常勤 (有給専任)	教 授	0	15	97	2		114
	准教授	5	6	94	6		111
	講 師	2	9	114	3	1	129
	助 教	9	39	475	12		535
	その他						0
	合 計	16	69	780	23	1	889

非常勤 (客員・無給を含む)	教 授						0
	准教授						0
	講 師					302	302
	助 教						0
	その他						0
	合 計	0	0	0	0	302	302

- * 教養の常勤者は医学部所属者のみに限る。総合大学で医学部所属者がいない場合は空欄とする。
 ** 基礎は社会医学を含む。
 *** 臨床は附属病院・分院を含む。

- B. 常勤の教員の任期制の制度を取り入れている。
 任期制の制度の概要は下記のとおりである。

・任期制の教員とそうでない教員がいる

- C. 教員や臨床実習時の指導医の医療事故に対する対応策については、取り決められていて、何らかの保険制度に、任意で加入している。

9. 学生数（平成19年12月現在）

学 年	総 数		うち学士編入者数	うち今年度留年者数（今年度のみ）	うち休学者数	うち外国人留学生	
		うち女子人数					うち女子人数
1	106	106			1		
2	99	99					
3	105	105			1		
4	105	105					
5	98	98					
6	96	96					
合計	609	609	0	0	2	0	0

10. 平成19年4月（今年）の医学部受験状況（編入は含まず、1年生のみ）

受験者数1325名、合格者数102名、倍率13倍

入学者数102名、（定員100名、うち推薦入学者数29名）

入学者の状況：現役50名、1浪32名、2浪10名、その他10名、

定員外に別試験で入学した外国人学生0名、

センター試験を導入していない

12. 平成18年4月（昨年）の医学部受験状況（編入は含まず、1年生のみ）

受験者数1256名、合格者数100名、倍率13倍

入学者数100名、（定員100名、うち推薦入学者数29名）

入学者の状況：現役47名、1浪30名、2浪13名、その他10名、

定員外に別試験で入学した外国人学生0名、

センター試験を導入していない

13. 平成18年（昨年）の1年生以外の編入学状況

B. 編入学者地域わくについて

地域わくは無い

今後どのように考えていますか

特に考えていない。

14. 授業時間配分

(1) 学期区分

学 年	学期制なし	学期制あり		総時間数		
		2学期制	3学期制	講義	実習	PBL／ チュートリアル
1		○		407	274	209
2		○		502	207	214
3		○		473	185	266
4		○		480	121	247
5	○			27	1533	
6	○			125	390	

（アーリーエクスポージャーは実習時間数に含める。）

(2) 土曜日の授業（講義または実習）は1年：ない 2年：ない 3年：ない
4年：ない 5年：ある 6年：ない

(3) 時間配分の概略図（授業区分のブロック図）

新カリキュラム（総合）

1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年
A	B	C	D	F	G

（註） A：基礎教育

B：基礎医学

C：臓器別総合カリキュラム（基礎各論、血液、免疫、器官系別、機能系別、神経系別、等の系統別、CPC）

D：社会医学、CPC、OSCE、CBT

E：教養

F：臨床実習

G：総括評価

現行カリキュラム

1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年
A	B	C	D	F	G
E					

15. 医学専門教育（専門課程）の教科別授業時間数

授業科目名	講義時間数	実習時間数	合計時間数
B2 診断・循環器・呼吸器・腎・尿路			
臨床総論	20		20
臨床診断総論	32		32
病理総論			0
病因と病態	24		24
循環器系 I	39		39
循環器系 II	44		44
呼吸器系 I	35		35
呼吸器系 II	47		47
腎・尿路系 I	39		39
腎・尿路系 II	38		38
比較医学			0
ヒューマン・リレーションズ			0
人間関係教育	6		6
医学の学び方	5		5
B2 実習		126	126
テュートリアル	114		114
臨床医学英語 I	2		2
計	445	126	571
B3 器官系別学習			
内分泌系	38		38
代謝系	27		27
消化器系	98		98
B3 実習		84	84
テュートリアル	114		114
臨床医学英語	2		2
計	279	84	363
B4 診断・循環器・呼吸器・腎・尿路			
脳神経系 I	41		41
脳神経系 II	35		35
脳神経系 III	36		36
脳神経系 IV	45		45
感覚器系 I	38		38
感覚器系 II	39		39
運動器系	44		44
麻酔系	23		23
学長講義	2		2
人間関係教育	2		2
B4 実習		101	101
テュートリアル	152		152
臨床医学英語	3		3
計	460	101	561
B5 機能別学習			
血液・造血器系	42		42
感染系	27		27
免疫系	32		32
皮膚系	26		26
東洋医学系	15		15
救急医療・医の倫理			0
救命救急医療系	11		11
人間関係教育	8		8
B5 実習	66		66
テュートリアル	95		95
計	322	0	322

授業科目名	講義時間数	実習時間数	合計時間数
B6 人の一生、人と社会、まとめの総合学習			
性と生殖系系の医学	39		39
妊娠と出生の医学	35		35
成長・発達と小児の医学	38		38
加齢・老化と高齢者の医学	32		32
環境と健康・疾病・障害	30		30
社会制度と保健・医療・福祉	35		35
医学英語	8		8
臨床診断各論	57		57
病理学実習 (CPC)	45		45
B6 実習		55	55
テュートリアル	152		152
計	471	55	526
B7			
5年病院実習	1533		1533
6年病院実習	390		390
人間関係教育	15		15
病院実習総論 (講義)	12		12
クリニカルカンファレンス			0
計	1950	0	1950
合計	7854	732	8586

各学年における講義時間数、実習時間数について

	講義時間数	実習時間数	合計時間数
1 学年	407	274	681
2 学年	502	207	709
3 学年	473	185	658
4 学年	480	121	601
5 学年	27	1533	1560
6 学年	125	390	515
合計	2014	2710	4724

16. その他の教育内容

下記の教育内容は独立した授業科目*として授業が行われていますか。

独立した科目として授業が行われている科目：

人類遺伝学 (臨床遺伝学) (必修)、行動科学 (選択)、医学外国語 (必修)、医療安全 (必修)、医の倫理 (必修)、緩和ケア (必修)、医療経済 (必修)、高齢医学 (必修)、在宅ケア・介護 (必修)、プライマリ・ケア (必修)、臨床医学 (必修)、人間関係学 (必修)、医療保険 (必修)、心理学 (選択)、人間形成・ロールモデル (必修)、学習方法論 (必修)

独立した科目として授業が行われていない科目：

医史学、医用 (電子) 工学、医療福祉学 (医療社会福祉学)、医療情報学、家庭医学

18. MD-PhDコースを設置していない。